

剣道実施要項

I 男子団体の部

1. 期 日
令和3年7月3日(土)
2. 会 場
新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
3. チーム人員
監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内(試合者5名)、計10名以内
4. 競技方法
(1)全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高専申し合わせ事項による。
(2)リーグ法とし、勝敗数法で行う。
(3)試合時間は4分3本勝負とし、勝敗が決しないときは、1回だけ2分の延長戦を行い、有効打突がないときは引き分けとする。
(4)連戦となるチームがある場合には、試合間に5分間のインターバルを設ける。
(5)団体の勝敗で勝者数が同数で総本数も同数のときは引き分けとする。
(6)リーグ法の順位決定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点、負けを0点として勝点の多い順に決定する。勝点と同数のときは勝者数の多い方を上位とし、なお、勝点、勝者数が同数のときは総本数が多い方を上位とする。さらに、総本数が同数の場合は代表者戦によって順位を決する。代表者戦は出場登録された任意の選手により行い、先取1本勝ちとする。時間を区切らず勝敗が決するまで行う。代表者戦は同一選手の出場とする。
(7)オーダーは前試合終了後速やかに提出し、試合者は試合毎に組み替えてもよい。但し、チームの人数が3名の場合は先鋒・中堅・大将に、4名の場合は先鋒・中堅・副将・大将に選手を置いてオーダーを組むこととする。

5. 表 彰
(1)表彰は1位～3位までに賞状を授与し、1位に優勝杯を授与する。
(2)優勝チームは全国高等専門学校体育大会剣道競技団体の部の出場権を得るものとする。

6. そ の 他
(1)竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2)竹刀はゲージをパスしたもの。
(3)4年生以上は、長さ120cm以下、重さは510g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは480g以上とする。いずれも先革の太さは26mm以上、ちくとう部の太さは21mm以上とする。
(4)監督者会議を会場にて12時00分より行う。

II 男子個人の部

1. 期 日
令和3年7月4日(日)
2. 会 場
新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
3. 出 場 人 員
監督1名、選手8名以内
4. 競技方法
(1)全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高専申し合わせ事項による。
(2)トーナメント法による。
(3)試合時間は4分3本勝負とし、制限時間に勝敗が決しないときは延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。但し、延長戦は時間を区切らず勝敗が決するまで行う。
(4)個人戦において連戦となる場合は、2分間の給水時間を設け、着装後に試合を開始する。

5. 表 彰
(1)表彰は1位～3位までに賞状を授与する。
(2)上位2名は、全国高等専門学校体育大会剣道競技個人の部の出場権を得るものとする。

6. そ の 他
(1)竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2)竹刀ゲージをパスしたもの。
(3)4年生以上は、長さ120cm以下、重さは510g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは480g以上とする。いずれも先革の太さは26mm以上、ちくとう部の太さは21mm以上とする。

III 女子団体の部

1. 期 日
令和3年7月3日(土) 男子団体の部終了後
2. 会 場
新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
3. チーム人員
監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内(試合者3名)、計8名以内
4. 競技方法
(1)全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高専申し合わせ事項による。
(2)リーグ法とし、勝敗数法で行う。
(3)試合時間は4分3本勝負とし、勝敗が決しないときは、1回だけ2分の延長戦を行い、有効打突がないときは引き分けとする。
(4)連戦となるチームがある場合には、試合間に5分間のインターバルを設ける。
(5)団体の勝敗で勝者数が同数で総本数も同数のときは引き分けとする。
(6)リーグ法の順位決定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点、負けを0点として勝点の多い順に決定する。勝点と同数のときは勝者数の多い方を上位とし、また、勝点、勝者数が同数のときは総本数が多い方を上位とする。さらに、総本数が同数の場合は代表者戦によって順位を決する。代表者戦は出場登録された任意の選手により行い、先取1本勝ちとする。時間を区切らず勝敗が決するまで行う。代表者戦は同一選手の出場とする。
(7)オーダーは前試合の中堅戦開始までに提出し、試合者は試合毎に組み替えてもよい。但し、チームの人数が2名の場合は先鋒・大将に選手を置いてオーダーを組むこととする。

5. 表 彰
(1)表彰は1位～3位までに賞状を授与し、1位に優勝杯を授与する。
(2)優勝チームは全国高等専門学校体育大会剣道競技団体の部の出場権を得るものとする。

6. そ の 他
(1)竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2)竹刀ゲージをパスしたもの。
(3)4年生以上は、長さ120cm以下、重さは440g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは420g以上とする。いずれも先革の太さは25mm以上、ちくとう部の太さは20mm以上とする。
(4)監督者会議を会場にて12時00分より行う

IV 女子個人の部

1. 期 日
令和3年7月4日(日) 男子個人の部終了後
2. 会 場
新湊アイシン軽金属スポーツセンター剣道場
3. 出 場 人 員
監督1名、選手は制限なし
4. 競技方法
(1)全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国高専申し合わせ事項による。
(2)トーナメント法による。
(3)試合時間は4分3本勝負とし、延長・連戦については男子の競技実施要項に準ずる。
(4)男子個人戦の終了後、女子個人戦の開始前に15分程度のインターバルを設ける。

5. 表 彰
(1)表彰は1位～3位までに賞状を授与する。
(2)上位2名は、全国高等専門学校体育大会剣道競技個人の部の出場権を得るものとする。

6. そ の 他
(1)竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2)竹刀ゲージをパスしたもの。
(3)4年生以上は、長さ120cm以下、重さは440g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは420g以上とする。いずれも先革の太さは25mm以上、ちくとう部の太さは20mm以上とする。